



屋上防水改修システム ウォーターバリアシリーズ

WATER BARRIER SERIES



WATER Barrier Series

屋上防水改修システム ウォーターバリアシリーズ

既調合形仮防水兼下地調整塗材

アクアサーフONE

(水性1液特殊アクリル系/16kg)

仮防水 仮防水層を施工するまでの一時的な降雨にも安心な、仮防水タイプの下地調整塗材です。

下地調整 ウレタン防水やシート防水などの各種防水材に適合します。※トーチ工法の下地調整には不適です。

既調合形 既調合タイプなので、セメント系下地調整塗材のような混合手間や可使時間の制約がありません。

簡易防水 既存防水層の劣化が軽微な場合、既存防水層を保護する簡易防水材としても最適です。

アクアサーフONE専用 水性1液エポキシ変性カチオン形プライマー

アクアカチオンプライマーEPO

(水性1液透明型エポキシ変性カチオン系/16kg)

仮防水および下地調整仕様			
仮防水下地調整工法	新設および既存防水層を全面撤去し下地調整する場合	ウレタン防水層・ポリマーセメント系塗膜防水材の部分撤去部を下地調整する場合	既存防水層を部分撤去後全面下地調整する場合
下地および既存防水層の種類	コンクリート・モルタル下地		
下地調整	<p><新設></p> <ul style="list-style-type: none">ほごり、土砂、油汚れなどを除去し、十分乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)下地の突起物、レイインスなどは、ワイヤーブラシ、サンダーで取り除き、十分清掃してください。 <p><防水層撤去部></p> <ul style="list-style-type: none">既存防水層を全面撤去する場合、既存防水層を全面撤去後、残存する接着剤などはケレン除去してください。既存防水層を部分撤去する場合、既存防水層の劣化が著しい箇所を完全に除去し、残存する接着剤などはケレン除去してください。露出鉄筋、欠損部分は、事前にレベメル等のセメント系下地調整材で補修してください。大きいひび割れなどは、カッターでV溝カットし、ウレタンシーリング材を充填してください。既存防水層を部分撤去後、アクアサーフONEで全面下地調整を行う場合や簡易防水仕様の場合、既存防水層と防水層撤去部の段差は、予めアクアサーフONEで段差調整してください。 <p><既存防水層></p> <ul style="list-style-type: none">既存防水層に付着しているほごり、土砂、油汚れなどを除去し、十分乾燥させてください。ウレタン防水層切れなどは、ウレタンシーリング材で充填してください。 <p>*既存ウレタン防水層のトップコートがPP系の場合、予め試験施工を行い付着性を確認してください。 *既存防水層のトップコートがシリバー系の場合は、施工をお避けください。尚、やむを得ず施工される場合は、高压水洗等によりシリバー層を完全に除去してください。(既存シリバー層は脆弱なため、残存すると剥離の原因になります。)</p>		
下塗り	<p>下塗不要</p> <p>*シート防水の接着剤等が取り切れない箇所や吸い込みの激しい下地の場合は、アクアカチオンプライマーEPOを塗装してください。(簡易防水仕様参照)</p>		
仮防水兼下地調整	(全面下地調整)	(撤去部のみ下地調整)	(全面下地調整)
	アクアサーフONE 1.0~1.5kg/m ² ×1回 希釈:0~5% 塗装間隔:5時間以上(23°C) 塗装器具:ワールローラー・刷毛・コテ		
各種防水層	各種防水材 ※トーチ工法は不適	ワンツーボウスイプライマー ワンツーボウスイECO ワンツーボウスイトップコート ※詳細はワンツーボウスイECO参照	または アクアボウスイプライマー アクアボウスイ ※詳細はアクアボウスイ参照
簡易防水工法	簡易防水仕様(既存防水層の劣化が軽微な場合)		
既存防水層の種類	ウレタン塗膜防水・ゴムシート・ゴムアシート・砂付アスファルトなど		
下地調整	上記の下地調整をご参照ください。 ※既存防水層の部分撤去面が広い場合は、簡易防水仕様ではなく、通常の防水仕様で施工してください。		
下塗り	アクアカチオンプライマーEPO 0.1~0.12kg/m ² ×1回(無希釈) 塗装間隔:3時間以上(23°C) 塗装器具:ワールローラー・刷毛 ※簡易防水仕様では、シーラーを必ず塗装してください。	アスファルトシーラー 0.1~0.2kg/m ² ×1~2回(無希釈) 塗装間隔:3時間以上3日以内(23°C) 塗装器具:ワールローラー・刷毛	
簡易防水	アクアサーフONE 0.8~1.2kg/m ² ×2回 希釈:0~5% 塗装間隔:5時間以上(23°C) 塗装器具:ワールローラー・刷毛・コテ		
上塗り	下記の適合上塗りをご参照ください。		

※アクアサーフONE 乾燥膜厚 約1mm(塗付量2kg/m²/2回)

※FRP防水の改修は別途お問い合わせください。

アクアサーフONE 簡易防水仕様適合上塗り

	非歩行用 (ペイントタイプ)	軽歩行用 ノンスリップ(骨入り)	軽歩行用 ノンスリップ(細骨入り)
標準タイプ	HPトップPA	HPトップSA	HPトップFSA
標準タイプ(遮熱色)	HPトップPA遮熱色	HPトップSA遮熱色	HPトップFSA遮熱色
標準タイプ(高反射遮熱色)	—	—	クールトップセラFSA
高耐久タイプ	HPシリコントップP	—	—
高耐久タイプ(遮熱色)	HPシリコントップP遮熱色	—	—
高耐久タイプ(高反射遮熱色)	クールトップセラSi	—	—

※HPトップシリーズの仕様については、「HPトップNEWシリーズ」見本帳をご参照ください。

水性自己架橋形1液アクリルウレタン塗膜防水材 (300m²以下の防水および美装)

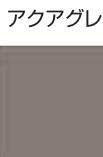
アクアボウスイ (水性1液アクリルウレタンゴム系) 16kg=4Kg

水系自己架橋形1液アクリルウレタン塗膜防水材で、溶剤系防水材の性能に匹敵する、環境にやさしい、使いやすい防水材です。

防水性 溶剤系防水材に匹敵するシームレスな防水層を形成します。

弾力性 耐亜裂性に優れる弾性を保持し、建物をまもります。

アクアボウスイ標準色



アクアボウスイトップSI 標準色



※標準色は、アクアウレタントップSIと共通色です。

※印刷色見本のため、実際の色とは多少異なります。

標準工法 (300m²以下の小面積に適した工法です。)

仕様	標準仕様	高耐候防水層保護 アクリルシリコントップ仕様	ノンスリップ仕様
下地調整	●アクアサーフONEをご参照ください。		
下塗り	アクアボウスイプライマー 0.1~0.15kg/m ² ×1回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程間3時間以上(23°C) 塗装器具:ウールローラー・刷毛		
防水層塗り	アクアボウスイ0.7~1.1kg/m ² ×2回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程内4時間以上 工程間16時間以上(23°C) 塗装器具:ゴムベラ・金ゴテ・ウールローラー(中毛)		
上塗り	上塗不要	アクアボウスイトップSI 0.10~0.20kg/m ² ×2回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程内2時間以上 最終養生24時間以上(23°C) 塗装器具:ウールローラー・刷毛・スプレー	HPトップSA HPトップFSA クールトップセラFSA ※HPトップの詳細は、HPトップ見本帳をご参照ください。

※アクアボウスイ 乾燥膜厚 約1mm(塗付量1.8kg/m²/2回)

補強クロス工法

補強材としてクロスを貼り付けることにより均一な膜厚の防水層が得られ、下地のクラックによる防水層の亀裂を防止できる工法

補強クロス仕様

下地調整	●アクアサーフONEをご参照ください。
下塗り	アクアボウスイプライマー 0.1~0.15kg/m ² ×1回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程間3時間以上(23°C) 塗装器具:ウールローラー・刷毛・スプレー
接着層塗り	アクアボウスイ 0.5~1.0kg/m ² ×1回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程間15分以内(23°C) 塗装器具:ゴムベラ・金ゴテ・ウールローラー(中毛)
補強クロス貼り (KC-0808B)	補強クロスを貼り付ける ・補強クロスの重ねしろは50mm程度とし、しわ、浮きがないように注意する。 ・貼り付けは、立ち上り部、出隅、入隅、ドレンおよび貫通パイプまわりから着手する。 塗装間隔:工程間4時間以上(23°C)
防水層塗り	アクアボウスイ 0.7~1.1kg/m ² ×2回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程内4時間以上 工程間16時間以上(23°C) 塗装器具:ゴムベラ・金ゴテ・ウールローラー(中毛)

※補強クロス(KC-0808B)104cm×100m ※高耐候仕様の場合は、上塗りにアクアボウスイトップSIを塗装してください。

絶縁通気シート工法

防水材を下地に直接密着させず、下地との間に絶縁通気シートを貼り付け、下地に含まれる水分(水蒸気)を拡散して防水層のふくれを防止すると共に下地のクラックによる防水層の亀裂を防止できる工法

絶縁通気シート仕様

下地調整	●アクアサーフONEをご参照ください。
接着剤塗り	ボンドスーパーGライト 0.3~0.5kg/m ² ×1回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程間20分以内(23°C) 塗装器具:クシペラ ・スーパーGライト(クロロブレン系接着剤)を十分に攪拌し、下地および絶縁通気シートの裏面にクシペラ等で均一に塗付し15分程乾燥させる。
絶縁通気シート貼り (CRW-3330L)	絶縁通気シートを貼り付ける 塗装間隔:工程間2時間以上(23°C) ・接着剤が十分に乾燥した後、絶縁通気シートを突き合わせ貼りする。 ・絶縁通気シートに、しわ、浮きが生じないようにゴムローラーなどで圧着し、ジョイント部分は自地テープを貼りアクアボウスイで補強塗りをする。 また、末端部分はウレタンシーリング材を塗り付け、補強する。
防水層塗り	アクアボウスイ 0.7~1.1kg/m ² ×2回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程内4時間以上 工程間16時間以上(23°C) 塗装器具:ゴムベラ・金ゴテ・ウールローラー(中毛)

※絶縁通気シート(CRW-3330L)100cm×50m ※高耐候仕様の場合は、上塗りにアクアボウスイトップSIを塗装してください。

脱気筒工法

絶縁通気シートを貼り付け、さらに脱気筒を取り付けることにより、脱気筒を通じて下地に含まれる水分(水蒸気)を防水層の外部に拡散して、防水層のふくれを防止すると共に下地のクラックによる防水層の亀裂を防止できる工法

脱気筒仕様

下地調整	●アクアサーフONEをご参照ください。
接着剤塗り	ボンドスーパーGライト 0.3~0.5kg/m ² ×1回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程間20分以内(23°C) 塗装器具:クシペラ ・スーパーGライト(クロロブレン系接着剤)を十分に攪拌し、下地および絶縁通気シートの裏面にクシペラ等で均一に塗付し15分程乾燥させる。
絶縁通気シート貼り (CRW-3330L)	絶縁通気シートを貼り付ける 塗装間隔:工程間2時間以上(23°C) ・接着剤が十分に乾燥した後、絶縁通気シートを突き合わせ貼りする。 ・絶縁通気シートに、しわ、浮きが生じないようにゴムローラーなどで圧着し、ジョイント部分は自地テープを貼りアクアボウスイで補強塗りをする。 また、末端部分はウレタンシーリング材を塗り付け、補強する。
脱気筒取り付け	脱気筒を20~30mに1個取り付ける 塗装間隔:工程間2時間以上(23°C) ※脱気筒の取付方法につきましては(株)山装ダモ脱気筒の取扱説明書をご覧ください。
防水層塗り	アクアボウスイ 0.7~1.1kg/m ² ×2回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程内4時間以上 工程間16時間以上(23°C) 塗装器具:ゴムベラ・金ゴテ・ウールローラー(中毛)

※絶縁通気シート(CRW-3330L)100cm×50m ※高耐候仕様の場合は、上塗りにアクアボウスイトップSIを塗装してください。

(注)アクアボウスイは使用前に攪拌機(スクリュー羽根)を用い、泡を巻き込まないよう注意しながら十分攪拌してください。

一般塗料と比較して最大10℃以上(表面温度)の省エネ効果!

遮熱タイプ 防水層保護塗料シリーズ

●加硫ゴムシート防水層保護用 水性1液反応硬化形アクリルシリコン樹脂系遮熱つや有り塗料

クールトップセラSi

(16kg)

ゴムシート用上塗材 1液形 つや有り

●加硫ゴムシート防水層保護用 水性1液アクリル樹脂系遮熱つや消し上塗材(軽歩行/細骨材タイプ)

クールトップセラFSA

(20kg)

ゴムシート用上塗材 1液形 つや消し 細骨材タイプ

●塩ビ防水シート用 水性1液反応硬化形アクリルシリコン樹脂系遮熱つや消し塗料

クールトップセラ塩ビ用Si

(16kg)

塩ビシート用上塗材 1液形 つや消し

●ウレタン塗膜防水層保護用 水性2液形ポリウレタン樹脂系遮熱つや有り塗料

水性ボウスイトップCOOL

(15kgセット 主剤13kg・硬化剤2kg)
(3kgセット 主剤2.6kg・硬化剤0.4kg)

塗膜防水用上塗材 2液形 つや有り

可使用時間

商品名	気温	30℃	23℃	10℃
水性ボウスイトップCOOL	3時間	6時間	10時間	

水性ボウスイトップCOOLは、可使用時間を過ぎても塗料状態に変化はありませんが、可使用時間を過ぎた塗料を使用しますと付着不良、塗膜の粘着を生じますので使用しないでください。

●湿気硬化形ブリード防止防水材用ウレタン樹脂プライマー

アスファルトシーラー

(16kg・3kg)

遮熱標準色

ECOライトグレー



クールトップセラSi・
クールトップセラ塩ビ用
Si・水性ボウスイトップ
COOL専用色

ECOグレー



水性ボウスイトップ
COOL専用色

ECOホワイトグレー



クールトップセラFSA
専用色

ECOグリーン



クールトップセラSi・
クールトップセラ塩ビ用
Si・水性ボウスイトップ
COOL専用色

ECOアイボリー



クールトップセラSi
専用色

ホワイト



クールトップセラSi・
クールトップセラFSA・
クールトップセラ塩ビ
用Si専用色

※同色であっても、製品により、若干色相が異なります。

※印刷色見本のため、実際の色とは多少異なります。

各種仕様	クールトップセラSi	クールトップセラFSA	クールトップセラ塩ビ用Si	水性ボウスイトップCOOL
各種既存防水層と適合下塗	(簡易防水) アクアサーフONE	○ 直接塗装可	○ 直接塗装可	○ 直接塗装可
	ゴムシート	○ 直接塗装可	○ 直接塗装可	✗ 塗装不可 アクアボウスイプライマー 0.10~0.15kg/m ² /1回 希釈材: 清水 希釀: 無希釀 塗装間隔: 工程間3時間以上 (23℃) 塗装器具: ウールローラー・ 刷毛・スプレー
	ゴムアスシート	○ 直接塗装可	アスファルトシーラー 0.10~0.20kg/m ² /1回 希釈材: スズカシンナー#2000 希釀: 無希釀 塗装間隔: 工程間3時間以上3日以内 (23℃) 塗装器具: ウールローラー・ 刷毛・スプレー	✗ 塗装不可 アスファルトシーラー 0.10~0.20kg/m ² /1回 希釈材: スズカシンナー#2000 希釀: 無希釀 塗装間隔: 工程間3時間以上3日以内 (23℃) 塗装器具: ウールローラー・ 刷毛・スプレー
	砂付アスファルト ※	○ 直接塗装可	アスファルトシーラー 0.20~0.30kg/m ² /1回 希釈材: スズカシンナー#2000 希釀: 無希釀 塗装間隔: 工程間3時間以上3日以内 (23℃) 塗装器具: ウールローラー・ 刷毛・スプレー	✗ 塗装不可 アスファルトシーラー 0.20~0.30kg/m ² /1回 希釈材: スズカシンナー#2000 希釀: 無希釀 塗装間隔: 工程間3時間以上3日以内 (23℃) 塗装器具: ウールローラー・ 刷毛・スプレー
	ウレタン防水層 (ワントーボウスイECOなど)	アスファルトシーラー 0.10~0.20kg/m ² /1~2回 希釈材: スズカシンナー#2000 希釀: 無希釀 塗装間隔: 工程間24時間以上3日以内 (23℃) 塗装器具: ウールローラー・ 刷毛・スプレー	アスファルトシーラー 0.10~0.20kg/m ² /1~2回 希釈材: スズカシンナー#2000 希釀: 無希釀 塗装間隔: 工程間24時間以上3日以内 (23℃) 塗装器具: ウールローラー・ 刷毛・スプレー	✗ 塗装不可 直接塗装可
	ポリマーセメント系 塗膜防水材 (レインガードなど)	アスファルトシーラー 0.10~0.20kg/m ² /1~2回 希釈材: スズカシンナー#2000 希釀: 無希釀 塗装間隔: 工程間2時間以上3日以内 (23℃) 塗装器具: ウールローラー・ 刷毛・スプレー	○ 直接塗装可	✗ 塗装不可
	塩ビシート	✗ 塗装不可	✗ 塗装不可	○ 直接塗装可 (注)
	FRP防水	✗ 塗装不可	✗ 塗装不可	✗ 塗装不可
上塗 ※砂付きアスファルト面	クールトップセラSi 0.10~0.20kg/m ² ×2回 ※0.2~0.3kg/m ² ×2回 希釈材: 清水 希釀: 無希釀 塗装間隔: 工程間2時間以上 (23℃) 最終養生24時間以上 塗装器具: ウールローラー・ 刷毛・スプレー	クールトップセラFSA 0.40~0.80kg/m ² ×2回 ※同上 希釈材: 清水 希釀: 無希釀 塗装間隔: 工程間3時間以上 (23℃) 最終養生24時間以上 塗装器具: ウールローラー・ 刷毛	クールトップセラ塩ビ用Si 0.15~0.25kg/m ² ×2回 希釈材: 清水 希釀: 無希釀 塗装間隔: 工程間3時間以上 (23℃) 最終養生24時間以上 塗装器具: ウールローラー・ 刷毛・スプレー	水性ボウスイトップCOOL 0.12~0.15kg/m ² ×2回 ※0.2~0.3kg/m ² ×2回 希釈材: 清水 希釀: 3~6% 塗装間隔: 工程間3時間以上 (23℃) 最終養生24時間以上 塗装器具: ウールローラー・ 刷毛・スプレー

(注)塩ビシートの表層が劣化している場合は、アスファルトシーラーを塗装してください。(0.10~0.20kg/m²1回、塗装間隔3時間以上3日以内)

ワンツーポウスイECO

(無溶剤型ウレタン防水材/18kgセット/A剤6kg:B剤12kg)

- 複雑な部位にも容易に施工できます。
- ゴム状弾性塗膜は、下地のクラックへの追従性が抜群です。
- 耐久性、耐水性、耐薬品性に優れます。
- レベリング性が良く、作業性に優れます。

商品名	気温	30°C	23°C	5°C
可 使 時 間	夏用 冬用	30分 -	40分 20分	- 50分
ワンツーポウスイトップコート		2時間	4時間	12時間
水性ポウスイプライマーECO		2時間	3時間	10時間

ワンツーポウスイ
ECO標準色

グレー

ワンツーポウスイ
トップコート標準色

ワンツーグレー



- 溶剤2液形ウレタン樹脂系上塗塗料
ワンツーポウスイトップコート(18kgセット・6kgセット/A剤15:B剤3)
- 溶剤1液湿気硬化形ウレタン樹脂系プライマー
ワンツーポウスイプライマー(16kg・4kg)
- 環境対応形 溶剤1液湿気硬化形ウレタン樹脂系プライマー(TXフリー)
ポウスイプライマーECO(16kg)
- 水性2液形ウレタン樹脂系上塗塗料 ※標準色はアクアポウスイトップSiと共にあります。
アクアウレタントップU(15kgセット・3kgセット/主剤13:硬化剤2)
- 水性2液形エポキシ樹脂系プライマー
水性ポウスイプライマーECO(16kgセット/A剤8:B剤8)

※印刷色見本のため、実際の色とは多少異なります。

標準工法

仕様	標準仕様	環境対応形仕様	環境対応形遮熱仕様
下地調整	●アクアサーフONEをご参照ください。		
下塗り	ワンツーポウスイプライマー(1液) 0.13~0.15kg/m ² ×2回 希釈材:スズカシンナー#2000 希釈率:0~50% 塗装間隔:工程内1~24時間 (23°C) 工程間3~24時間 塗装器具:ワールローラー・刷毛・スプレー	ポウスイプライマーECO(1液) 0.13~0.15kg/m ² ×2回 希釈材:スズカシンナー#2000 希釈率:無希釈 塗装間隔:工程内1~24時間 (23°C) 工程間3~24時間 塗装器具:ワールローラー・刷毛・スプレー	水性ポウスイプライマーECO(2液) 0.13~0.15kg/m ² ×2回 希釈材:清水 希釈率:0~8% 塗装間隔:工程内1~24時間 (23°C) 工程間3~24時間 塗装器具:ワールローラー・刷毛・スプレー
防水層塗り	ワンツーポウスイECO (A剤6、B剤12) 1.0~1.3kg/m ² ×2回 塗装間隔:工程内16~72時間 工程間24時間以上(23°C) 塗装器具:ゴムベラ・金ゴテ・ワールローラー(中毛)		
上塗り	●アクアウレタントップU(2液) 0.12~0.13kg/m ² ×2回 希釈材:スズカシンナー#2000 希釈率:10~30% 塗装間隔:工程内3~48時間 (23°C) 最終養生24時間以上 塗装器具:ワールローラー・刷毛・スプレー		
	アクアウレタントップU(2液) 0.12~0.15kg/m ² ×2回 希釈材:清水 希釈率:3~6% 塗装間隔:工程内3時間以上 (23°C) 最終養生24時間以上 塗装器具:ワールローラー・刷毛・スプレー ※可使用時間は水性ポウスイトップCOOLをご参照ください。		
	水性ポウスイトップCOOL(2液) 0.12~0.15kg/m ² ×2回 希釈材:清水 希釈率:3~6% 塗装間隔:工程内3時間以上 (23°C) 最終養生24時間以上 塗装器具:ワールローラー・刷毛・スプレー		

※ワンツーポウスイECO 乾燥膜厚 約2mm(塗付量2.6kg/m²/2回)

補強クロス工法

補強材としてクロスを貼り付けることにより均一な膜厚の防水層が得られ、下地のクラックによる防水層の亀裂を防止できる工法

補強クロス仕様

下地調整	●アクアサーフONEをご参照ください。
下塗り	標準工法の下塗りをご参照ください。
接着層塗り	ワンツーポウスイECO (A剤6、B剤12) 0.3~0.5kg/m ² ×1回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程間15分以内(23°C) 塗装器具:ワールローラー・刷毛
補強クロス貼り (KC-0808B)	補強クロスを貼り付ける ・補強クロスの重ねしろは50mm程度とし、しわ、浮きがないように注意する。 塗装間隔:工程間16~72時間以上(23°C)
防水層塗り	ワンツーポウスイECO (A剤6、B剤12) 1.0~1.3kg/m ² ×2回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程内16~72時間 工程間24時間以上(23°C) 塗装器具:ゴムベラ・金ゴテ・ワールローラー(中毛)
上塗り	標準工法の上塗りをご参照ください。

※補強クロス(KC-0808B)104cm×100m

絶縁通気シート工法

防水材を下地に直接密着させず、下地との間に絶縁通気シートを貼り付け、下地に含まれる水分(水蒸気)を拡散して防水層のひくれを防止すると共に下地のクラックによる防水層の亀裂を防止できる工法

絶縁通気シート仕様

下地調整	●アクアサーフONEをご参照ください。
接着剤塗り	ボンドスーパーGライト 0.3~0.5kg/m ² ×1回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程間20分以内(23°C) 塗装器具:クシベラ
絶縁通気シート貼り (CRW-3330L)	絶縁通気シートを貼り付ける ・接着剤が十分に乾燥した後、絶縁通気シートを突き合わせ貼りする。 塗装間隔:工程間2時間以上(23°C)
防水層塗り	ワンツーポウスイECO (A剤6、B剤12) 1.0~1.3kg/m ² ×2回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程内16~72時間 工程間24時間以上(23°C) 塗装器具:ゴムベラ・金ゴテ・ワールローラー(中毛)
上塗り	標準工法の上塗りをご参照ください。

※絶縁通気シート(CRW-3330L)100cm×50m

脱気筒工法

絶縁通気シートを貼り付け、さらに脱気筒を取り付けることにより、脱気筒を通じて下地に含まれる水分(水蒸気)を防水層の外部に拡散して、防水層のひくれを防止すると共に下地のクラックによる防水層の亀裂を防止できる工法

脱気筒仕様

下地調整	●アクアサーフONEをご参照ください。
接着剤塗り	ボンドスーパーGライト 0.3~0.5kg/m ² ×1回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程間20分以内(23°C) 塗装器具:クシベラ
絶縁通気シート貼り (CRW-3330L)	絶縁通気シートを貼り付ける ・接着剤が十分に乾燥した後、絶縁通気シートを突き合わせ貼りする。 塗装間隔:工程間2時間以上(23°C)
脱気筒取り付け	脱気筒を20~30mに1個取り付ける ※脱気筒の取付方法につきましては(株)山装ダモ脱気筒の取扱説明書をご覧ください。 塗装間隔:工程間2時間以上(23°C)
防水層塗り	ワンツーポウスイECO (A剤6、B剤12) 1.0~1.3kg/m ² ×2回 希釈:無希釈 塗装間隔:工程内16~72時間 工程間24時間以上(23°C) 塗装器具:ゴムベラ・金ゴテ・ワールローラー(中毛)
上塗り	標準工法の上塗りをご参照ください。

※絶縁通気シート(CRW-3330L)100cm×50m

(注)ワンツーポウスイECOのB剤はA剤投入前にあらかじめ十分攪拌してください。また、A剤B剤は正しい比率で計量し、攪拌機(スクリュー羽根)を用い、泡を巻き込まないよう注意しながら十分攪拌してください。

ワンツーポウスイECO・アクアボウスイ

新設の場合 下地の条件(コンクリート・モルタル)

下地の条件は、下記事項を基準にしてください。

下 地……コンクリート直押え、またはモルタル下地(金ゴテ押え)とする。

(注)下地がデッキプレート上に施工したコンクリートの場合、絶縁通気シート工法および脱気筒工法で施工を行ってください。(標準工法ではフクレを生じます。)

乾 燥……下地は十分に乾燥していること。(含水率10%以下、pH10以下)(コンクリートまたはモルタル打設後、夏期3週間、冬期4週間以上経過が目安です。)

※勾配……水勾配は歩行用屋根防水1/50～1/100、露出用屋根防水1/20～1/50とする。

平滑度……下地は平坦、平滑で浮きや突起物など凹凸がないこと。表面のレイタス、ぜい弱部、油脂等の汚れ、砂、塵埃などがすべて除去されていること。

※出隅……半径20m/m程度のRとすること。

※入隅……45°の面または、半径30m/m程度のRとすること。

※水切り…立上り上端部、軒先部は水切りが良好であること。



※取付器具…ルーフドレン、排水金物類などは原則としてコンクリート先付けして打込むこと。また、その周囲の水はけが良くなる様、低い位置に堅固に取付けてあり、欠損のこと。

※印の項については、設計の段階から考慮してください。

改修の場合 下地調整

●下地のひび割れ、凹凸、段差などは次のように処理してください。

凹凸、段差、ひび割れ(0.3mm以下)の処理

(アクアサーフ ONE を施工する場合)



〔塗膜防水を施工する場合〕
ワンツーポウスイプライマー
ワンツーポウスイ ECO
アクアサーフ ONE または
レインガード・レバーモル

ひび割れ(0.3mm以上)の処理

(アクアサーフ ONE を施工する場合)



〔塗膜防水を施工する場合〕



目地部の処理

① 目地に充てんされている既存防水層は取り除き、入念に清掃した後、十分乾燥させてください。

② 目地部に各プライマーを塗布し、十分乾燥させた後、バックアップ材を入れ、ウレタン系シーリング材を充てんしてください。

③ 目地テープを貼り付けた後、その上に下地調整塗材または防水材で補強塗りしてください。

(アクアサーフ ONE を施工する場合)



(塗膜防水を施工する場合)



※塗膜防水としてアクアボウスイを施工する場合は、下地のひび割れ、凹凸、段差はアクアボウスイプライマー、アクアボウスイを使用してください。

ワンツーポウスイECOの施工

補強塗り

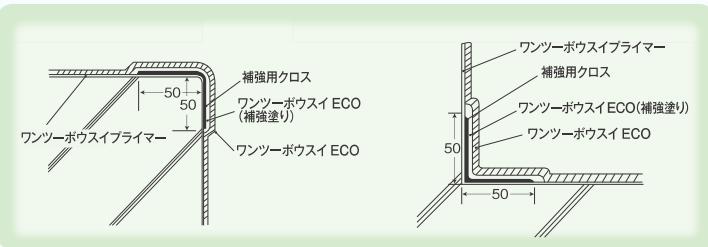
●出隅、入隅、ドレイン及び貫通パイプ廻り、コンクリートの打継ぎなどの接合部は、1層目に先立ち補強塗りしてください。

◎ワンツーポウスイECO1層目(施工は立上り部より行ってください)

●立上り部

●ワンツーポウスイECO B剤にA剤を混合した後、ワンツーポウスイECO立上用添加剤(360g)を混入して十分攪拌してください。

●調合品で立上り面を仕上げてください。



施工上の注意事項

- 気温5°C以下、湿度85%以上及び結露が懸念される場合は、塗装を避けてください。
- 素地は十分に乾燥させてください。(含水率10%以下、pH10以下)
- アクアカチオンプライマー EPOはカチオン系ですので、一般塗料と絶対に混ぜないでください。また、一般水系塗料に用いたはけ・ローラーなどの塗装器具を共用されると固まることがありますので避けください。
- 使用前に十分攪拌し、均一にしてから塗装してください。うすめすぎは仕上り不良や塗膜欠陥を起こすことがありますので避けてください。
- 2液形塗料は、主剤、硬化剤を正確に計量混合し、均一にしてから塗装してください。また、可使用時間内にご使用ください。
- 夏期の施工で、下地が高温時に一度に厚塗りすると、ふくれ、ひび割れが生じることがありますので避けてください。

取扱い上の注意事項

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。
防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど。
- 容器から取り出す時に、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合は、布やウエスで拭き取るか、砂などを散布した後、処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 蒸氣・臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった時には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40°C以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。特に下記の場所での保管は避けてください。
雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など。
- 捨てる時には、産業廃棄物として処分してください。
- 製品の容器には、取扱い上の注意事項などを記載していますので、必ずお読みいただき正しく安全にご使用ください。特に引火及び有害の危険性がある製品は、十分注意し、安全対策を行ってください。

詳細な内容が必要なときには、安全データシート(SDS)をご参照ください。

スズカファイ株式会社

営業本部 〒510-0101 三重県四日市市楠町小倉1058-4
研究開発本部 〒510-0851 三重県四日市市塙浜町1

☎ 059-397-2187 FAX 059-397-6191
☎ 059-346-1116 FAX 059-346-4585

札幌支店 ☎ 0133-60-6311 東京支店 ☎ 03-5661-2211 名古屋支店 ☎ 052-411-1255
大阪支店 ☎ 072-862-1601 広島支店 ☎ 082-277-1116 四国支店 ☎ 0877-24-4621

取扱店

53

